

2020 年度
マンスリーレポート No. 72

3月1日、OSCE 部会が開催され、山田が「臨床実習後 OSCE 全国説明会」の資料(概要)を提出して説明した。

3月4日、柏木が臨床検査専門学校卒業式(3月5日)のオンライン配信を準備した。

3月8日、久留米大学入学試験(一般後期一次)が行われ、安達・柏木・山田が御井学舎で監督を担当した(3人とも理科で前日に散髪)。

3月10日、教授会議が開催され、学生の行動指針について、施設使用の緩和(図書館やCP室)と学友会活動の再開(許可要件つき)が承認された(災害レベル I 相当に引き下げ)。医療従事者を対象にした新型コロナワクチン接種が旭町地区で始まった。CC-EPOC 説明会(国立大学病院長会議 EPOC 運営委員会、CC-EPOC: Clinical Clerkship E-Portfolio of Clinical training 卒前学生医用オンライン臨床教育評価システム)が開催され、山田が Web 会議に出席し、報告書を教務委員長とクリクラ部会長に提出した。

3月11日、14時46分、東日本大震災10年追悼式に合わせてセンターで黙祷を行った。学位記授与式(3/12)の配信準備(筑水会館→1502教室/学外)を柏木が教務課と行った。

3月12日、学位記授与式(医学科卒業式)が筑水会館で行われ(保護者はライブ配信)、112名が卒業した。卒業祝賀会は中止され、部活の送別会が敷地内で分散して行われた。

3月14日 柏木と山田が医学教育専門家の A コース(Assessment 学習者評価)を履修した(オンライン)。

3月15日、「感染症医療人材養成事業」(文科省)は申請78件のうち38件が選定され、本学は不選定であった。

3月16日、第115回 医師国家試験の結果が発表され(厚労省)、コロナ禍に合格者数の増減はなく、本学の新卒は受験者112人、合格者95人、合格率84.8%(全国94.4%、私立93.8%)、既卒は受験者23人、合格者10人、合格率43.5%(全国54.5%、私立54.6%)であった。久留米大学入学試験(一般後期二次)が行われ、安達が面接官を担当した。

3月17日、『教務ニュース』が発行され(教務委員会、第102号)、安達の「臨床実習の充実に期待」、山田の「第115回国試を振り返って」が掲載された。

3月18日、安達と柏木が共用試験 CBT 問題ブラッシュアップに参加した。

3月19日、片山が臨床研修医オリエンテーションの打合せ会議に参加した。

3月19日~20日(祝)、教育システム(Moodle)の大規模な移動があり、柏木が新サーバーの構築からデータの移動まで全工程の作業を行った。

3月22日、元気プロジェクト共同研究「女性医師のワークモチベーションを上昇させる動機づけモデルの樹立」(web アプリ)で、柏木と守屋講師が久留米高専の学生と進捗状況を議論した。

3月23日、教務委員会が開催され、柏木が国家試験点数と卒業試験点数の相関について過去3年分のデータ(N=261)の解析結果を提出して説明した。必修問題が総論/各論問題に比べて相関係数が低いことが示され、卒業試験の問題作成に反映させることになった。

3月24日、教授会議が開催され、進級判定が審議された。結果の通知に学生の Moodle アクセスが集中したが、新しいサーバーに十分な余裕があることが確認できた。

3月25日、卒業試験部会(井川教授)に安達が「必修問題: 教員への手引き」、柏木が「作問のポイント」を提出した。

3月30日、臨床検査専門学校の新入生歓迎会に向けて、柏木が臨検校職員と双方向映像システムの構築と動作の確認を行った。

3月30日～31日、新年度のコロナ対策授業(メイン/サブ教室)に向けて、柏木が教務課と双方向授業システムの設置と動作の確認を行った。

3月31日、トレセン会議でセンター使用の取扱いが審議され、片山が2020年度の使用実績を報告した。柏木と山田が第53回日本医学教育学会大会(栃木)に演題を提出した。

*クリニカルスキル・トレーニングセンターで開催されたイベントは次のとおり。

3月2日、分娩介助・内診演習(産婦人科医師)

3月3日、CVカテ挿入トレーニング(救命医師)

3月5日、CVカテ挿入トレーニング(救命医師)

3月9日、バッグバルブマスク使用勉強会(病棟看護師)

3月11日、バッグバルブマスク使用勉強会(病棟看護師)

3月17日、バッグバルブマスク使用勉強会(病棟看護師)

3月19日、臨床研修医オリエンテーション打合せ会議(臨床研修センター)

3月24日、救急蘇生研修会(病棟看護師)

3月30日、気管内挿管・CVカテ挿入トレーニング(消化器内科医師)

3月31日、クリニカルスキル・トレーニングセンター会議(谷脇センター長)

文責：安達洋祐